

常警文藝

残暑 (高月會)  
脚氣やんでそらあるきや  
秋暑し 雪村  
震災の供養の場や秋あつし 同  
佛門に入つて涼しき残暑か 松童  
帷子をしまつては出す残暑 同  
かな 同  
葬列の我に歸りや秋暑し 叟石  
ふごの魚肩に腐りぬ秋暑し 同  
病める子の蠅を拂うて秋暑し 鶏山  
大祭の彌宜か袂に残暑かな 同  
巡行の關取宿や秋暑き 同  
帆に孕む風はあれども残暑 同  
かな 牛城  
左圍次が衣冠に残る暑かな 同  
末なりの瓜大なる残暑かな 牛玉  
實習畑に玉蜀黍あふる残暑 同  
かな 同  
別荘をさざし兼ねたる残暑 同  
かな 同  
避暑の客歸京見合はす残暑 同  
かな 同  
又一しきり水屋賑ふ残暑か 同  
な 同  
夏瘠のなほる暇なき残暑か 同  
な 夢吉  
下女二人残暑淋しき海の宿 同

看護婦派出  
の求めに應ず  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

開業  
喜樂團子 皿十五錢  
喜樂すし 散廿五錢  
出前は遠近に不拘  
早速お届けします  
早送お届けします  
女給募集す  
平館前喜樂  
電話呼出器番

披露  
◆キツト買ッテ戴ケル  
確信アル値段  
米松 (セメント) グリウ  
建物業 各種  
磐城建物株式會社  
平町五丁目 電話五一七番

開業  
露披御業開  
樂天  
前橋田鎌町平  
湯藥と料理御  
候上願を遊清御の日一非是

是非  
粹で上品な履物を  
御求めの際は  
平町二丁目 電話一五六番  
三井履物店

東邦民衆保儉  
火災  
保儉料は極く僅かのもので有ます  
ハガキか電話で御申込み下さい  
特に御便利に御契約引受致します

羅災の時に保儉金を廿時間以内に  
而も寛大に親切に支拂ふ事を以て  
湧くが如き大歓迎を受けつゝある

磐城代店  
草野源三郎  
平町四丁目  
電話一七五番

TRADE MARK  
NIPPON OPHONE  
レコード  
..... (定價表) .....  
..... ト印同面 ..... 80  
..... リエンキ印同面 ..... 90  
..... オヒコシ印同面 ..... 1.20  
..... ヒワツバジ印同面 ..... 1.20  
..... ツフ (以上一板毎に景品呈上) ..... 1.20

ツバメ印レコード  
會社と海岸線一手  
特約祝として向ふ  
レコード年間同印面  
宛で差上ります  
平一丁目電話三三九番  
常盤屋時計店

眞に是れ鬼に金棒!  
耐火耐震耐久力の絶大なる  
日本コンクリート鐵網  
拔群優秀なる斯界の權威  
磐城セメントを推奨す  
最も經濟的に然も超越せる無比の良材  
(施工説明書を進呈致します)  
特約代理店 平町五丁目  
久釜屋商店  
電話九番、一三九番

東京  
瓦斯  
壹俵二付 壹圓卅錢  
壹噸二付 三十三圓  
弊鐵工場が瓦斯コークス販賣元を  
委屬されて滿五週年に達した御禮  
心にコークスの御買上が十俵に達  
します毎に有聲座の一等觀覽券  
進呈します

平町見月町平  
所工鐵藤佐  
部スクーコ

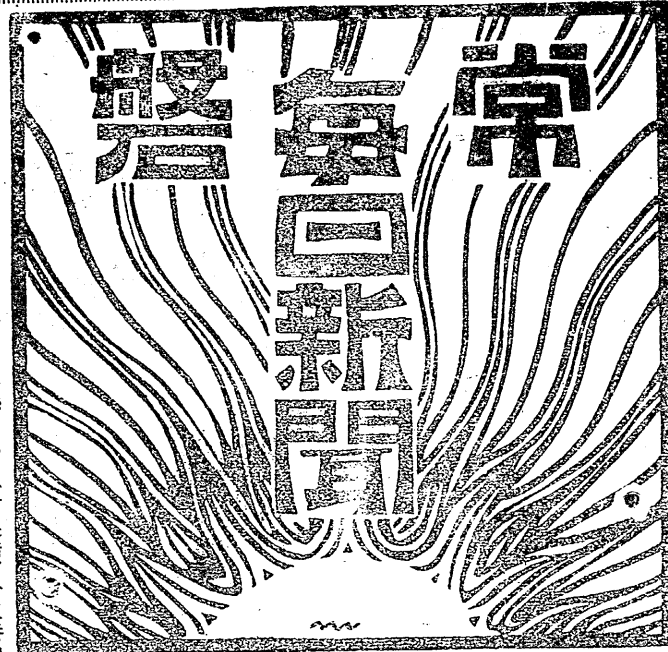
平町  
吉田眼科醫院  
電話三三二番  
川添房二郎

株式賣買中値  
電話に金融致し

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四〇〇
磐城實業	三〇〇	二七〇
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四〇
同新	一五〇	一八〇
百七銀行	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三七五
同新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	七〇
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	五〇
磐城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城製菓	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	二〇〇
好間軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一五〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同新	二二五	一八〇
磐城セメン	五〇〇	六四〇
同新	三三五	四三五
平運送	一一五	八〇

丸登株式会社  
平町田町 電話三三二番  
川添房二郎

定一部金貳錢 廣五號十三休日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町廿五番地  
郵税五厘 告五字一刊 料五十錢 日刊 日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町廿五番地  
印刷所本社専屬 印刷所本社専屬 印刷所本社専屬



發行兼編輯人 川崎文治  
印刷人 川崎文治  
福島縣石城郡平町長崎町廿五番地  
發行所 常盤毎日新聞社

刊夕日三十月九年

社説  
淺薄なる研究よ  
川崎文治

平上水道研究會なるものが組織された當時に於て世人の多くは是れを目して何んと云つたか、即ち平電氣企業に對抗すべく形勢の餘りに非なるを知つて是れを徐ろに側面より切り崩さんと野望を抱き其魔の手を伸して二三僥倖者との間に遠謀を巧み茲に生み落した一個の私生兒である、従つて多數の町民とは何等の交渉を保たぬ利權共鳴者の少數なる集會であると云つた、

余は個人として右の世説に必ずしも全々同意を表せざりしと雖も、多數町民の集團である大瀧發電所許可反對同盟會の疾風迅雷の大活動に依つて、私利私慾に眩惑されつゝあつた利權組一派も遂に其膝元に屈服して第二期工事の計劃を放棄するの臍を固め青沼、漆畑兩氏の調停に依りて今や正に平町未曾有と稱せられつゝあつた紛擾も大團圓を告げて全く平靜に復し町民の總べては一日千秋の思ひにて香坂知事の裁断を鶴首しつゝあるに際し突如研究會の組織を見たるは、一先づ均等されたる人心に對し更ら

に古傷をうづが如き平地に波瀾を起すの憂ひならずやとの觀念を持つて其舉の幾分輕卒の嫌ひあるを痛感した、然るに何んぞ、今回同研究會の意見書なるものに依つて是れを見るに「平電氣企業社の設計したる水槽より採るときは現使用水量一、三個ならば直ちに平水道送水管に接続送水し得べく又將來水量の増加も極めて容易であります、特に水路は全部隧道及び暗渠でありますから安全の點に於て理想的であります」とは甚だしくも其淺薄さ加減を露骨ならしめた點に於て啞然たらざるを得ない(續)

### 水道研究会曰く 「水は國家の所有物」

#### 鬼の首でも取った積りか 識者の失笑を招ぐ

平上水道研究会なるものが其意見書と稱する印刷物を配付して識者の失笑を招きたるは既記の如くであるが同意見書の劈頭には

### 意見に成程 と打肯く調査 會の主唱者

好開川の水は國家の所有であつて獨り平町の水道にのみ好都合に使用する事は許されませんと書き出してある、成程同會なるものが数日十の日子を要して研究を遂げた結果水は國家の所有である事の大発見を爲したものであつて是れを先づ眞つ先きに

### 町民の 總べてに報

告せんものとの意氣込みから鬼の首でも取つた積りで掲げたものとすれば罪のなさは加減は算るべきである、而して平町は調査會の云ふ通り水は國家の所有であるの故を以て政府から其水利権を獲得したのである、然るに後から起つた

### 平電氣 と云ふ一營

利會社の爲めに其既得権を侵害され、あまつさへ、一營利會社から水を貰つて三萬の町民が命をつながなければならぬ理屈が何處にあるか、先づザツトこんな調子で反駁して行くものとすれば數限りもないが狭い紙面を埋めるのも餘りにモツタイ至極もない事であるから夫れは本紙一面に順次掲載される

### 羽織地を贈る 水路看守表彰

石城郡小川江筋水路看守人

### 川崎本社長の 萩原氏 立會演説を求む

心中深く決する處あり  
高本社員を使者として

本社々長川崎文治は萩原義雄氏の主宰せる平上水道研究会が發表した意見書に對し全々其主張を異にせるのみならず今日斯る意見書を公開せるは徒らに人心を動搖せしむる意味に於て甚だ妥當ならざる行動なりとし

### 平局の 電話連絡 希望者を募集

必らずフワンを熱狂せしめず置きぬであらう  
水野郡長から  
大浦村磯井八郎氏は明治四十四年五月水路看守人となつて以來十二ヶ年間よく職務に精勵し其功績からざる爲め水野郡長から羽織地を贈られ表彰さる

平電氣、貴下の主宰せる平上水道研究会の意見書なるものを讀過し同意し難き點有之候間更に貴下の意のある處を聴取し余も又一町民として所信を開陳致し度く左記要領に依つて貴下と共に立會演説し手交した

### 明日決勝戦 雨天で延期し

#### 少年野球は いほらき主催少年野球は昨日觀衆を以て人を埋むるの盛況を呈したが降雨の爲め中止し明日廿三日正午に延期した、因に尋常科は宮對平高等科は高坂對平の決勝戦であるからカツ飛ぶ熱球は



魚の目にイチ、ク

俗に魚の目といはれてゐる皮膚の硬化部をなほすにはイチ、クの葉を切りますと乳の様な汁がで

カツケの妙藥  
脚氣藥のこしらひ方を申上げます、米ぬか三合に、水三合を入れます、御飯ふかきなべのやうな器に入れてよくかきまはしますと、ごろ／＼のものになります、取り去られます

### 平町大掃除 廿八九の兩日

平町にては水害後の衛生が最も大切な處から左記日取りに依り廿八、九の兩日秋季清潔法を嚴行する由

廿八日(新町、長橋、研古、紺屋町、舊城跡、久保町、北目、胡摩澤、材木町、堂の前、搔堀小路、田町、一丁目、二丁目、鍛冶町、田中、南町一部(廿九日)三丁目、田町の(廿九日)三丁目、五丁目、大町、南町、北白銀、仲間町、南白銀、鐵道官舎、立町、鎌田、下川原、新川、月見町、堤の内、溺死體が

### 海濱に浮む 昨夕の江名町

既報十七日出水の際仁井田川にて溺死した石城郡大浦村字上仁井田遊藝人小野辰次郎(四)の屍體は廿一日午五時頃頃江名濱海岸に漂着した

### 平で人形芝居 活動

人形佐藤三津盛の一行が南町元公堂前にて昨日から晝夜人形芝居を興業する筈であるが餘興として安來節秋田音頭八木節等ある由

### 常磐片々

平上水道研究会が研究の結果を三萬町民に教えて曰く  
水は國家の處有なり  
ベラボウメエ、小學校の生徒だつて知つて居らあと平町民大いに怒る

### 常磐炭礦庭球

常磐炭礦庭球部は來月二日午前八時から平商コートにて庭球試合を行ふ由

### 石城地方の 晚秋蠶好況

石城地方の晚秋蚕は去十八日頃からポツ／＼出廻りを見せ出て來る廿五日前後が出現の取引は最高十貫目百五圓最低九十五圓、買馴れ百圓の好況で品質は養蠶期中通じて順調なる天候をたごつたので近年になく優良もの多く且つ先行きは良なる値上りはないとしても幾分昂騰の模様で各市場共非常の活況を呈して居る

### 石城郡からの 競技参加

本縣聯合青年團競技大會は愈々廿三日午前八時より開催される筈であるが、石城郡よりの左記参加選手は

### 思想問題

石城神職主催  
講師本日來平  
既報石城郡神職會にては全國神職會幹事長にして神官奉齋會長たる今泉定介氏を聘し廿三日午後一時から植田小學校にて、同日午後七時から郡議事堂にて思想問

### 坑夫落盤即死

石城郡磐崎村小野田炭礦坑夫三島末吉(七)は廿日午後七時頃坑内に落盤の爲め粉砕されて慘死した

### 平町人事

出生  
△胡摩澤 常時石城郡赤井村大字赤井長尾力藏氏二男市二  
△鎌田町 山口留次郎氏四女靜江  
△杉平 小林勉氏次女郁子  
△杉平 北村修(六二)  
△研町 郡司ケサ(五三)